

令和2年度 3学期保護者会 校長あいさつ

1、2年生の保護者の皆様こんにちは。本校校長の田村でございます。本日はご多用の中、3学期末、年度の終わりに際しての保護者会にお越しいただきありがとうございます。

令和2年度が間もなく終わろうとしています。最後の最後まで気を抜かずに教育活動を行ってまいります。この1年間、色々とお思いの事、多数あったこととは存じますが、保護者の皆様のご理解、ご協力のもと、なんとかここまで来ることができましたことにお礼を申し上げます。ありがとうございました。

保護者の皆様ご承知の通り、新型コロナウイルスの影響で、今年度は休校からスタートしました。私が4月に本校に着任した時には、学校なのに生徒の姿がないという異様な光景で本年度が始まりました。休校期間中、本校教職員は学習プリントを作って各家庭のポストに何度も届けたり、メッセージを動画にとって本校のホームページで発信したりと大変な苦勞ではありましたが、手前味噌ながら本当によくやってくれたと思っています。

6月に学校が再開いたしましたが、国や県、市の教育委員会からガイドラインが出され、リスク回避の観点から、かなりの活動が制限されました。また、学校の判断にゆだねられる運用事項につきましては、養護教諭と何度も学校医へ足を運び、ご指導を賜り、職員間の共通理解を図りました。判断の根拠は一貫してぶれることはなかったと自負しておりますが、根拠の最たるものは、健康、安全の右に出る理由など存在しないということです。学校は、家庭・地域、そして未来の社会から子供たちの命を預かっているところであり、子供と共に暮らすご家族の命をも間接的に預かっているという重い責任を担っているということ。このことを常に念頭に置き、リスクの高い活動は自粛をしてまいりました。体育祭や合唱祭を行った市内の中学校もありましたし、他市町では修学旅行に行ったところもありました。結果としては、どの学校も無事にそれらの行事を終えることができたと聞いておりますが、それは結果論であり、たとえ時計を戻すことができて、本校の判断が変わることはありません。部活の大会ができなくてかわいそう、修学旅行やスキー教室、体育祭や合唱祭ができなくてかわいそうという、感情論に流されることなく、子供の命を、子供と共に生活するご家族の命を預かり、守るため、今後も教育委員会や学校医の後ろ盾を得ながら1つ1つその

都度判断を行ってまいります。

さて、様々な行事が中止となった令和2年度でございますが、本校教職員たちには、「行事がなくなっても注ぐ愛情はこれまでと全く変わらないはずである。職員一人一人が知恵を出し、汗を流し、最後の最後まで子供たちを愛し、教えるべきことを教え、学ばせることを学ばせ、経験させることを経験させ、自信を持って次年度に引き継ごう」と新たな局面を迎えるたびに、何度も何度も心を一つにし、士気を高めて参りました。私の見る限り、学力的な面も、特別活動で学ばせ、成長させる面においても、この1年間での不備、不足はなかったものと認識しております。この一年間で、生徒達は、確実な成長を遂げています。校長の私がそう感じるのですから、学級担任をはじめとする教員、そして保護者の皆様におかれましては、お子様の成長を強く実感していることと思います。

しかし、成長とは、必ずしも無条件で喜ばしい事とは限りません。例えば、親に反抗するようになった、何でも話してくれていたのに、最近はろくに口も利かない、SNSでトラブルを起こしたりしないか心配である、クラスや部活動の仲間と人間関係がうまく築けているか心配である。など、まさに中学生だからこそその心配もあるわけです。そこで、意識していただきたいことを2つ申し上げます。1つ目は、照れくさくても勇気を出して、我が子を心配していること、何かあったら相談に乗ることを伝えてください。一度、伝えてしまうと、照れくさい感覚は消え去り、普通に言えるようになります。2つ目は、親の力だけでは解決できない、分からないと思ったことが発生したら、一刻も早く、学校の教員や相談室の相談員やカウンセラー、もちろん外部の相談機関でも構いませんので、SOSを発信し、第三者の客観的な意見を聞くことをお願いします。諸外国では、困ったことが起きた時だけでなく、普段の生活の中で、自動車の定期点検を受けるのと同じように、心の定期点検として、カウンセリングを受けることは当たり前になっています。みなさんは、親という立場の他にも当然、一人の人間という立場、職業人としての立場など様々な立場で、様々な状況を抱えて日々生活を送っている訳ですから、心の定期点検として、学校の教員、カウンセラーなどと遠慮せずに子育てのことを相談してください。

さて先日、3年生は本校を立派に卒業していきました。1、2年生は、4月からそれぞれ2、3年生となるわけでございますが、引き続き、本校教職員は一枚岩で教育活動に全力で当たる覚悟でございますので、保護者、地域の皆様におかれましては、

ご理解とご協力ほどお願い申し上げます。

本日はこの後、担任や学年の職員から、1年間のまとめの話があると思います。忌憚のないご意見を頂戴するとともに、些細なことでも遠慮せず、何なりとご相談していただければと思います。それではどうぞよろしく願いいたします。

令和3年3月18日 春日部市立飯沼中学校長